

令和5年8月9日

August 9, 2023

大学院学生各位

To All Graduate Students

2023年度

基盤医学特論 開講通知

Information on Special Lecture Tokuron 2023.4-2024.3

題目：クロマチンからのPCNA除去に連係したゲノム維持

Title: Control of genome integrity by remove the PCNA from chromatin

講師：塩見 泰史 先生（兵庫県立大学大学院 理学研究科 准教授）

Teaching Staff: Yasushi Shiomi

(Graduate School of Life Science, University of Hyogo, Associate Professor)

日時：令和5年9月25日 月曜日 16:00-17:30

Time and Date: **Sep 25 (Mon) 2023, 16:00-17:30**

場所：環境医学研究所 北館セミナー室

Room: N-201 (Seminar Room), North Building, Research Institute of Environmental Medicine (Higashiyama Campus)

言語：日本語

Language: Japanese

特論の概要：

ゲノム維持と細胞増殖の必須因子であるPCNAは、複製フォークの進行に伴ってDNA結合し、様々な因子のDNA集合と反応制御に機能する。一方、それら反応の完了後には、PCNAがDNAから積極的に除去されることも重要である。これまでには、Elg1-RFCがDNAからのPCNA除去に特異的に機能することが示されてきたが、私たちの解析からユビキチンリガーゼのTRAIPもPCNA除去に寄与することが分かってきた。Elg1-RFCとTRAIPからなる多重なPCNA除去機構の存在からも、ゲノム維持にはDNAからの適切なPCNA除去が重要であると推察される。そこで現在は、新規PCNA除去因子であるTRAIPがどのようにゲノム維持と細胞増殖に寄与するのかについて解析を進めており、その紹介をしたい。

関係講座の連絡担当者：環境医学研究所ゲノム動態制御分野（分子機能薬学）金尾梨絵
内線 3871（鶴舞・大幸地区からは、85-3871）

Contact: Rie Kanao, Dept. of Genome Dynamics, Research Institute of Environmental Medicine. Phone: ext. 3871 (or 85-3871 from Tsurumai & Daiko campuses)

（事前の申込みは不要です。No Registration Required.）

医学部学務課大学院係

Student Affairs Division, Graduate School of Medicine